



「Active School Kai Project」 = A S K P プロジェクト

- ・令和4年度入学生から新学習指導要領が実施となり、学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの一環として、「指導と評価の一体化」を進めていくことになりました。
- ・学校の教育課程を、家庭や地域社会と共有する「社会に聞かれた教育課程」の実現も同時に進めていくことになりました。
- ・A S K P プロジェクトは、教育力向上を図るプロジェクトとしてすべての県立高校で実施してホームページで公開しています。

令和6年度甲府一高・A S K P プロジェクト関連の公開日程

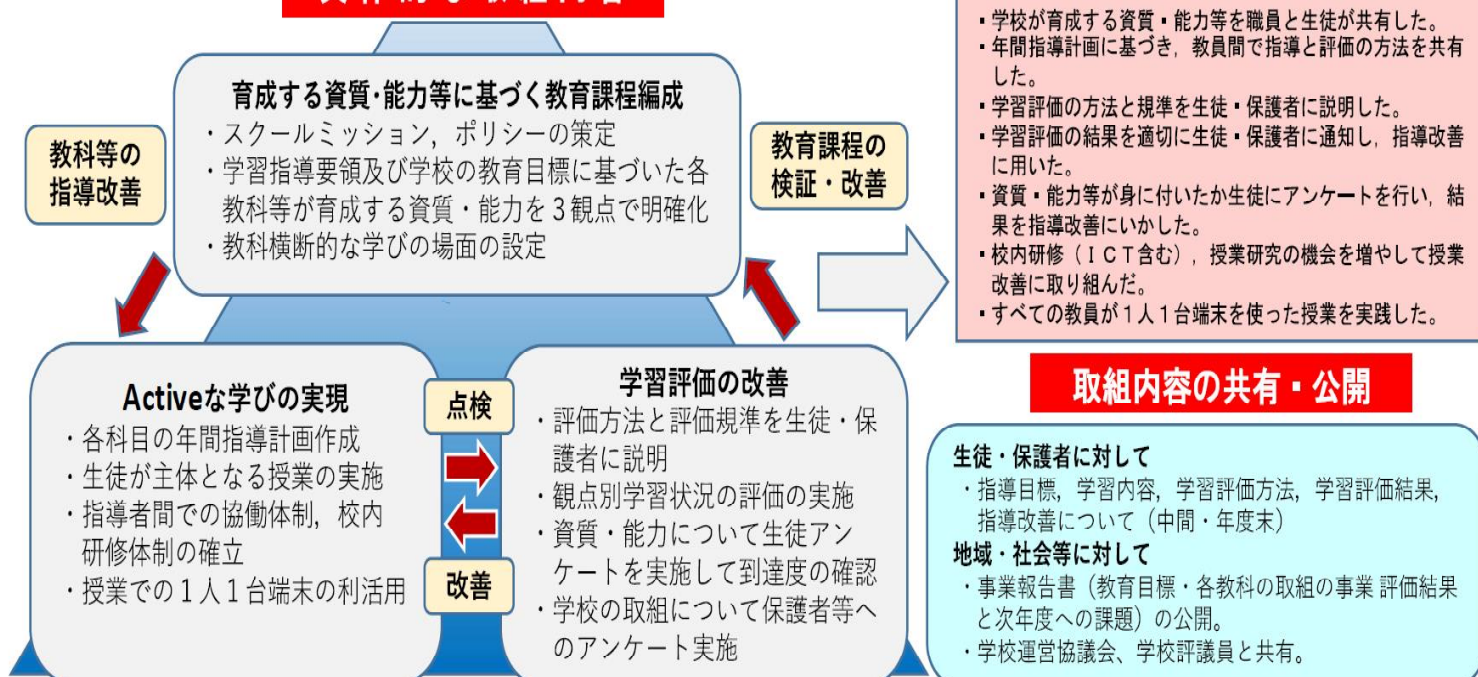
- ① A S K P プロジェクト各教科(観点別学年別)実施計画公開(4/1)
- ② A S K P 授業アンケートⅠ(7/8～)⇒中間結果報告公開(9/19)
- ③ A S K P 授業アンケートⅡ(1/8～)⇒年間結果報告公開(2/7)
- ④ 保護者アンケート結果公開 & 次年度への教科別課題公開(2/7)

未来を拓く Active School Kai Project

概要

- ◆ **改** 主体的・対話的で深い学びの視点による**授業と学習評価の改善**に向けた取組を徹底し、生徒の学習意欲の向上と、教員の指導改善を図る。
- ◆ **回** 学習指導要領の理念とスクールミッション、スクールポリシーに基づき、各学校の教科等の指導において育成する資質・能力を定め、達成状況の評価と改善を図るP D C Aサイクルを**回す**。
- ◆ **開** 学校全体及び各教科の目標と、指導・評価・改善の取組について、生徒・保護者に積極的に通知するとともに、年度末に各校のホームページで**公開**し、**社会に開かれた教育課程**を実現する。
- ◆ **Kai** 1人1台端末を活用して、**kai.ed**で繋がる生徒と教員が情報活用能力を高め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する。またそのための校内研修体制を確立する。

具体的な取組内容



ToDo

R4年度

R5年度

R6年度

R4入学生
学力目標
設定

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
中間評価
検証・改善

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
年次評価
検証・改善

1,2年次で実施

1～3年次で実施

事業の
検証・改善
HP公開

令和6年度_甲府一高・A S K Pプロジェクト実施報告

学校番号	4	学校名	甲府第一高等学校			
全・定・通	全	学年	1	在籍生徒数	219	名
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 自由の精神のもと、自主自律に徹する。					
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題に怯まない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を持つ 3-2他者と協働できる 3-3状況に即して自己変容できる					
各教科の取組						
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題		
国語	基礎事項の定着により、文章の論理構造をとらえることができる。	4.1	4.1	漢字や古典単語力、そして文法などの基本的な知識をさらに定着させ、応用力につなげられるような指導を継続していきたい。		
	論理的に考え、他者との関わりの中で考えを伝えることができる。	4	4	「現代の国語」の中で培ってきた論理的思考力を生かし、他者との関わりの中で自己の考えを論理的に伝えることができるようにしたい。		
	文学や伝統的言語文化にも関心を持ち、国語の能力を向上させようとする態度を養うことができる。	4.1	4.2	教科書内で扱った教材に留まらず、様々な文学に関心を持てるように、生徒個人が自身の国語力向上に向けて意欲を持てるように指導していきたい。		
地公	知識・技能の習得を既有的の知識・技能と関連づけ、活用する中で他の学習や生活場面で活用できる。	3.9	4	現代世界の地域的特色を理解し諸資料から様々な情報を効果的にまとめる技能を身に付けた。今後は他の学習や生活場面への結びつけたい。		
	知識・技能を活用し課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけることができる。	3.8	3.9	歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連を活用して、多面的に考察した。今後は社会課題の解決に向けて構想・議論する力を養いたい。		
	自らの学習状況を把握し、学習を調整しながら学ぼうとする意思を身につけることができる。	4	4.2	授業と家庭学習を有機的に結びつけることが出来てきた。今後は、自ら学習内容に興味・関心、疑問点を持ち深く探究していく姿勢を伸ばしたい。		
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4.3	4.1	基本的な概念や原理・法則を身近な事象を通して理解し、数学的に処理する知識や技能を身につけさせたい。		
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	4.1	3.9	数学を活用する場面を増やし、論理的に考察し、的確に表現しようとする姿勢を身につけさせたい。		
	授業や課題に主体的に取り組み、粘り強く考えることができる。	4.3	4.1	取り組み状況は良好であるが、さらに粘り強く考えて、考察力を深めようとする力を身につけさせたい。		
理科	自然の事物・現象の理解を深め、科学的探究のために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けられる	4	4.1	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための観察・実験に必要な技能を身に付けさせたい。		
	観察、実験などを行い、科学的に考察し、表現することができる。	3.8	3.9	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察し、評価できる。また、自らの考えをわかりやすく伝えることができるようにしたい。		
	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究することができる。	4	4.3	観察・実験を仲間と協働して行い、結果についてディスカッションすることで理解を深めつつ、新たな課題を見出すことができるようにさせたい。		
英語	英文の基本的な構造を理解し、身近なことや自らについての情報や考えを適切に表現できるようになる	3.9	3.8	レベルにあった個別の学習支援を行い、小テストや単元テストなどで確実に理解すべき基礎知識を固定化させ、発展・応用問題に対応できる力を養いたい		
	社会的な幅広い話題についての情報や自らの考えなどを論理的説得的に構成表現することができる。	3.9	3.9	多岐にわたる比較的多い分量の情報理解・整理し、その目的・場面・状況を判断した上で、論理的かつ説得力のある適切な回答を導きだせる力を養いたい。		
	他者に配慮しながら発表を聞いて積極的に質問するなど主体的自律的なコミュニケーションができる。	4	4	さまざまな言語活動を通して、相手意識を持って自身の意見を積極的に述べ、他者と協働することによって多様な意見や価値観を受け入れる力を養いたい。		
芸術	芸術活動において自らの意図に基づいて表現するための技能を身に付けることができる。	4.1	4.2	表現するための技能について、身に着けた実感を得るためのワークシートを作成していきたい。		
	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	4.1	4.1	鑑賞した結果をフィードバックする時間が、単なる話を聞くだけの時間にならないように工夫する必要がある。		
	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな社会を創造する態度を育てられる。	4.3	4.3	反省を書かせると楽しいという感想が多いが、それがどのように楽しいのか、さらに言語化させていきたい。		
家庭	生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付けることができる。	4.1	4.2	単元ごと小テストなどを通して、生活に必要な基礎的な知識の定着を図りたい。		
	生活における課題を発見し、その解決策を考え、それを、他者に論理的に表現することができる。	4.2	4.2	できるだけグループワークの時間を設けるなどして、多様な価値観を受け入れ、広い視野を持てるように指導していきたい。		
	他者と協働し、自分や家庭・地域・社会における生活の充実向上を図ることができる。	4.1	4.2	身近な問題を通して生活に関心を持たせ、家庭や社会の一員として果たすべき役割と責任について考え、行動できるようにしていきたい。		
保体	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて理解し、実践することができる。	4.2	4.4	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて理解し、実践することができるようにしたい。		
	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることや説明することができる。	4	4.2	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることや説明することができるようにしたい。		
	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助することができる。また、安全に配慮することができる。	4.3	4.3	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助することができる。また、安全に配慮することができるようにしたい。		
情報	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法について理解を深めることができる。	4.2	4.1	教科書やPCによる実習で学習した知識や技術を授業の中で繰り返し利用する機会を増やし、理解を深め技能を高めたい。		
	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	4.1	4	学習単元ごとにPCを活用する場面を増やし、効果的に活用する力を育てたい。		
	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画することができる。	4.2	4.2	授業で学んだことを社会一般の事象の分析に活用する場面を増やし、情報や情報技術の有用性を意識させる。		
総探	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけることができる。	—	3.9	手順に関する知識を関連付けながら、特定の場面や状況だけでなく、日常の様々な場面や状況で活用可能な技能として身につけさせたい。		
	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立てることができる。	—	4	実社会や実生活に広がっている複雑な問題と向き合い、自らの力で解決の方向を明らかにし、見通しをもって計画的に取り組ませたい。		
	探究に対して、主体的・協働的に、互いのよさを生かしながら取り組もうとする様子が見られる。	—	4	自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合う中で、異なる多様な意見を受け入れ、尊重しようとする態度を身に付けさせたい。		

学校番号	4	学校名	甲府第一高等学校			
全・定・通	全	学年	2	在籍生徒数	216 名	
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 心身を鍛錬し、不撓の意思を涵養する。					
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題に怯まない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を持つ 3-2他者と協働できる 3-3状況に即して自己変容できる					
各教科の取組						
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題		
国語	社会で必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる	4	4.2	基本的な漢字や古文単語に取組む時間を毎時間設け、理解語彙・使用語彙の量を増やすという自覚を持って学べるような授業展開をした		
	論理的批判的に考える力や、共感想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを他者に伝えられる。	4	4.1	文章に書かれていることから、自分の思いや考えを広げ、伝えたい相手に伝わるような表現にできるよう、その力を養う活動機会を設けたい。		
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。	4.1	4.3	専門性の高い文章について粘り強く取り組み、言葉を通して身近な他者や社会だけでなく専門性の高い分野とも関わろうとする態度を養いたい		
地公	ICT機器を効果的に活用し多面的多角的な考察や深い理解を通して主権者としての自覚を深められる	3.9	4	授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用する場面が増えた。今後は多面的な考察を通して、主権者としての自覚を深めさせたい。		
	社会的な見方考え方を働かせ、広い視野に立ち、言語活動に積極的に取り組むことができる。	3.8	3.9	話し合い、討論、発表など言語活動に積極的に取り組む姿勢が伸びてきた。今後は社会的な広い視野で考える力を養成したい。		
	家庭学習と授業を有機的に結び付け、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。	3.9	4.2	小テスト等を通して家庭学習と授業を有機的に結び付けることが出来た。今後は課題を主体的に解決しようとする態度を養わせたい。		
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4.2	4	定期的に小テストを行い、基礎基本の定着を図った。今後は原理・概念を理解させるようにさらにICT教材を利用していきたい。		
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	3.9	3.8	特に考察が必要な問題に対して、重点的に時間を取り、ペアワークなどで考えを深めさせた。今後はグループ活動も積極的に入れていく。		
	数学的な思考力を身につけるために、授業や課題に主体的に取り組む、粘り強く考えることができる。	4.2	4	週1回既修事項の課題プリントを配布し、主体的に復習し、考えさせるきっかけを作った。今後は課題と授業を連携させ、思考力を育みたい。		
理科	自然の事物・現象の理解を深め、科学的探究のために観察・実験に必要な技能を身につけられる	4	3.9	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための観察・実験に必要な技能を身につけさせたい。		
	観察・実験の得られた結果を科学的に考察し、評価できる。自らの考えをわかりやすく伝えられる	3.8	3.8	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察し、自らの考えをわかりやすく伝えることができるようにしたい。		
	観察実験を仲間と協働して行い、結果について話し合うことで新たな課題を見出すことができる。	4.1	4	観察・実験を仲間と協働して行い、結果について協議し理解を深めつつ、新たな課題を見出すことができるようにしたい。		
英語	英文の基本的な構造を理解し、身近なことや自らについての情報や考えを適切に表現できるようになる	3.9	3.9	基礎的な知識・技能の定着を向上させられるよう繰り返し学習を重視し指導する。また、基礎力に基づいた読解力・表現力を育成したい。		
	社会的な幅広い話題についての情報や自らの考えなどを論理的説得的に構成表現することができる。	3.8	3.8	求められる知識や情報、能力を精選し、内容的をさらに充実させ、生徒が自らの考えをまとめ論理的・説得的に表現できるよう工夫したい。		
	他者に配慮しながら発表を聞いて積極的に質問するなど主体的自律的なコミュニケーションができる。	3.8	3.9	生徒が発話しやすいような環境を整備し、言語活動をさらに工夫すると共に、主体的・自律的にコミュニケーション力を育成したい。		
家庭	生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付けることができる。	4.4	4.3	単元ごとの小テストなどを通して、生活に必要な基礎的な知識の定着を図りたい。		
	生活における課題を発見し、その解決策を考え、それを、他者に論理的に表現することができる。	4.4	4.3	できるだけグループワークの時間を設けるなどして、多様な価値観を受け入れ、広い視野を持てるように指導していきたい。		
	他者と協働し、自分や家庭・地域・社会における生活の充実向上を図ることができる。	4.2	4.3	身近な問題を通して生活に関心を持たせ、家庭や社会の一員として果たすべき役割と責任について考え、行動できるようにしていきたい。		
保体	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて説明し、実践することができる。	4.4	4.4	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて理解し、実践することができるようにしたい。		
	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを説明したり、修正することができる。	4.2	4.2	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを説明したり、修正することができるようにしたい。		
	学習の補助をしたり仲間の学習を援助して、助言して、安全に配慮した行動を取ることができる。	4.5	4.3	学習の補助をしたり仲間の学習を援助して、助言して、安全に配慮した行動を取ることができるようにしたい。		
総探	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な概念を自分で発見し形成することができる。	—	3.9	調査結果を対象に応じた適切さで正確に収集させる。BYODの検索ソフトを使って正確に短時間で多くの情報を収集させたい。		
	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、情報を集め、整理・分析することができる。	—	3.8	情報収集の手段を意図的計画的に用いたり、解決の過程や結果を見通したりして、多様で効率的な情報収集が行われるようにさせたい。		
	探究に対して、主体的・協働的に、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造することができる。	—	3.9	自身の課題と対峙し、自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働して解決に向けた探究に取り組もうとする主体性や協働性を培わせたい。		

学校番号	4	学校名	甲府第一高等学校		
全・定・通	全	学年	3	在籍生徒数	230 名
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 高遠な理想のもとに、平常の実践に努める。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題に怯まない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を持つ 3-2他者と協働できる 3-3状況に即して自己変容できる				
各教科の取組					
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題	
国語	様々な種類の文章を読んだり、表現したりするために必要な語句の量を増やし、活用できる。	4	4.3	現代文から古文までの多様な文章を読む中で、実際の用例を見ながら習得し、使用語彙にできるよう授業内で積極的に促したい。	
	文章に書かれていることから、自分の思いや考えを広げ、伝えたい相手に伝わるような表現にできる。	4	4.3	文章のリライト活動や、相互添削活動等を通して、文章の構成や論理構造の整合性などを自身で分析できるような力を伸ばしたい。	
	専門性の高い文章について、粘り強く読み取ろうとすることができる。	4.1	4.3	文章を読解するための多様な工夫を共有することで、専門性の高い語彙やテーマでも、読み方を工夫をしながら読めるようにしたい。	
地公	ICT機器を効果的に活用し、多面的な考察や深い理解を通して、主権者としての自覚を深められる。	3.9	4.2	授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用し、多面的な考察や深い理解が出来た。主権者としての自覚を更に深めさせたい。	
	社会的な見方考え方を働かせ、広い視野に立ち、言語活動に積極的に取り組むことができる。	4	4.3	話し合い、討論、発表などの言語活動に積極的に取り組む姿勢が定着した。今後は社会的な広い視野に立てるようにしたい。	
	家庭学習と授業を有機的に結び付け、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。	3.9	4.2	授業と家庭学習が結びつき、積極的に学ぶ姿勢が見られた。今後、諸課題に主体的に解決させる場面を効果的に設定したい。	
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4.2	4.3	数学における基本的な原理・法則を繰り返し用いることで知識として定着することができた。継続してその機会を設けるようにしたい。	
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	4.1	4.4	日常的な事象をモデル化して表現することができた。数学的に考えることのよさについても理解することができたため、次年度も続けていく。	
	数学的な思考力を身につけるために、課題や新しい問題に主体的に取り組む、粘り強く考えられる。	4.3	4.4	一つの課題に対して集中力をもって取り組む姿勢がみられた。周囲の者と協力して主体的に問題に取り組む機会を次年度も多く取りたい。	
理科	自然の事物・現象の理解を深め、科学的探究のために必要な観察・実験の技能を身につけることができる。	4	4	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための観察・実験に必要な技能を身に付けさせたい。	
	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察評価し、考えをわかりやすく伝えられる。	3.9	3.9	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察・評価し、自らの考えをわかりやすく伝えることができるようにしたい。	
	観察・実験を協働して行い、結果についてディスカッションすることで理解を深め、課題を見出せる。	4.1	4.1	観察・実験を仲間と協働して行い、結果について協議し理解を深めつつ、新たな課題を見出すことができるようにさせたい。	
英語	基礎から発展的知識技能を用いて英文の構造を確実に理解し自らの考えや意見を的確に表現できる	4	4.3	授業での振り返りを元に確実に理解すべき基礎知識の穴抜けを補い、発展的知識技能を身に着け根拠をもって表現できる力を身に付けさせたい。	
	社会的に広い話題の情報や考えを目的・場面・状況に応じて論理的に説得力ある英語で表現できる	3.9	4.2	多岐にわたる比較的多い分量の情報を理解整理し、その場面設定を適格に理解した上で問いに対し論理的かつ説得力のある回答を力を養いたい。	
	言語活動を通して意見を積極的に述べたり、理解度を把握して不足部分を工夫して補い努力できる。	4.1	4.3	自らの学習を調整する能力を付けるために理解度を図る単元テスト等で把握させ他者との意見交換で気づきを持たせ自分に還元できる力を養いたい	
芸術	芸術と文化的・歴史的背景などとの関わりや多様性への理解を深め表現する技能を身に付けられる	4.9	5	個別について、必要な知識技能を得たという実感があるということがわかったので、それがどのようなものかを明らかにしたい。	
	芸術のよさや美しさを評価しながら深く味わったりすることができ、個性豊かな表現を創意工夫できる。	4.7	4.8	個性豊かな表現がどのようなものであるのか、他者を通じて実感できる取り組みが必要であると感じた。	
	主体的協働的に活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み心豊かな社会を創造できる。	4.9	4.8	主体的、協働的な活動はとても意欲的にできていると思う。次は、自分の活動が社会にどのように還元できるかを考えさせていきたい。	
保体	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて説明し、実践することができる。	4.2	4.6	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて説明し、実践することができるようにしたい。	
	提示されたポイントを理解し、仲間の課題や出来映えを説明したり、具現化することができる。	4.1	4.4	提示されたポイントを理解し、仲間の課題や出来映えを説明したり、具現化することができるようにしたい。	
	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助し、合意形成を図ることができる。	4.2	4.6	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助し、合意形成を図ることができるようにしたい。	
総探	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な概念を自分で発見し形成することができる。	—	4.2	課題とそれに対する解決策の整合性を高められるよう、多角的なアプローチを考えさせたい。	
	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、情報を集め、整理・分析することができる。	—	4.2	論文や新書について、類似テーマというだけでなく、自身の身の周りの課題に対応する文献なのか吟味して情報収集できるようにしたい。	
	探究に対して、主体的・協働的に、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造することができる。	—	4.1	探究活動が自己や社会に対して新たな価値を持つものになるよう、個人や相互の振り返り機会を十分に取、学びを言語化させたい。	